

震災支援

諏訪赤十字病院に
義援金755万円寄託

岡谷のアサヒグループ

パチンコ店などを経営する三公商事(岡谷市長地権現町)などのアサヒグループは20日、東日本大震災と県北部地震の被災地への義援金755万円余を諏訪市の諏訪赤十字病院に寄託した。呉本成浩専務(36)が病院を訪れ、小口寿夫院長に目録を手渡した。

県内と東京都、山梨県の全26店舗に募金箱を置いて利用



小口院長(右)に目録を手渡す呉本専務

客から義援金を募ったほか、パチンコ玉やスロットのメダルも募金として受け付けた。今回は3月15日から5月末までの分で、今後も当面続ける。

呉本専務は4月上旬、炊き出しのため岩手県釜石市、大船渡市を社員ら8人と訪れており、「高台から被災地を眺め、絶句した」と話した。出したパチンコ玉の全てを寄付した客もいたという。小口院長は「大事にお預かりして、日赤県支部を通じて被災地に送りたい」と感謝していた。